らくらく産地直販

取　扱　説　明　書

（販売王：データ移行編）

Ｒｅｖ．Ａ

平成２６年　２月　２６日

目　　次　　ページ

１．　はじめに　3

２．　データ移行の手順　3

３．　販売王システム：ファイル出力　4

４．　らくらく産地直販：データの取り込み　6

５．　データの確認　13

５．１ 顧客データ　13

５．２ 注文データ　13

１．　はじめに

ソリマチの「販売王」システムから、顧客とお届け先のデータを「らくらく産地直販」に取り込む方法について説明します。

「販売王」システムから、得意先のデータとお届け先のデータをテキストファイルで取り出します。
（拡張子は「csv」で、カンマ区切、文字列は「”」で囲まれたＣＳＶファイルです）
この取り出した２つのファイルを読み込むことで、簡単に「販売王」システムのデータを移行することができます。

「らくらく産地直販」システムは、顧客データと注文データがない状態で、他システムからのデータを取り込むことができます。
「らくらく産地直販」システムの「データの初期化」で、顧客データと注文データをクリアすると、
［販売王データの移行］ボタンが有効になります。

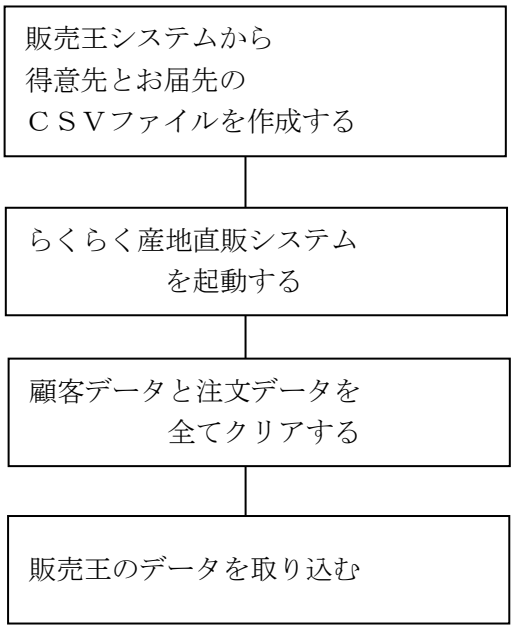
《注意》「らくらく産地直販」システムに顧客データと注文データがある状態で、他システムからのデータを取り込むことはできません。
運用を開始する前に、「販売王」システムからデータを取り込んでください。

２．　データ移行の手順

次のような手順で、簡単に販売王システムのデータを移行することができます。

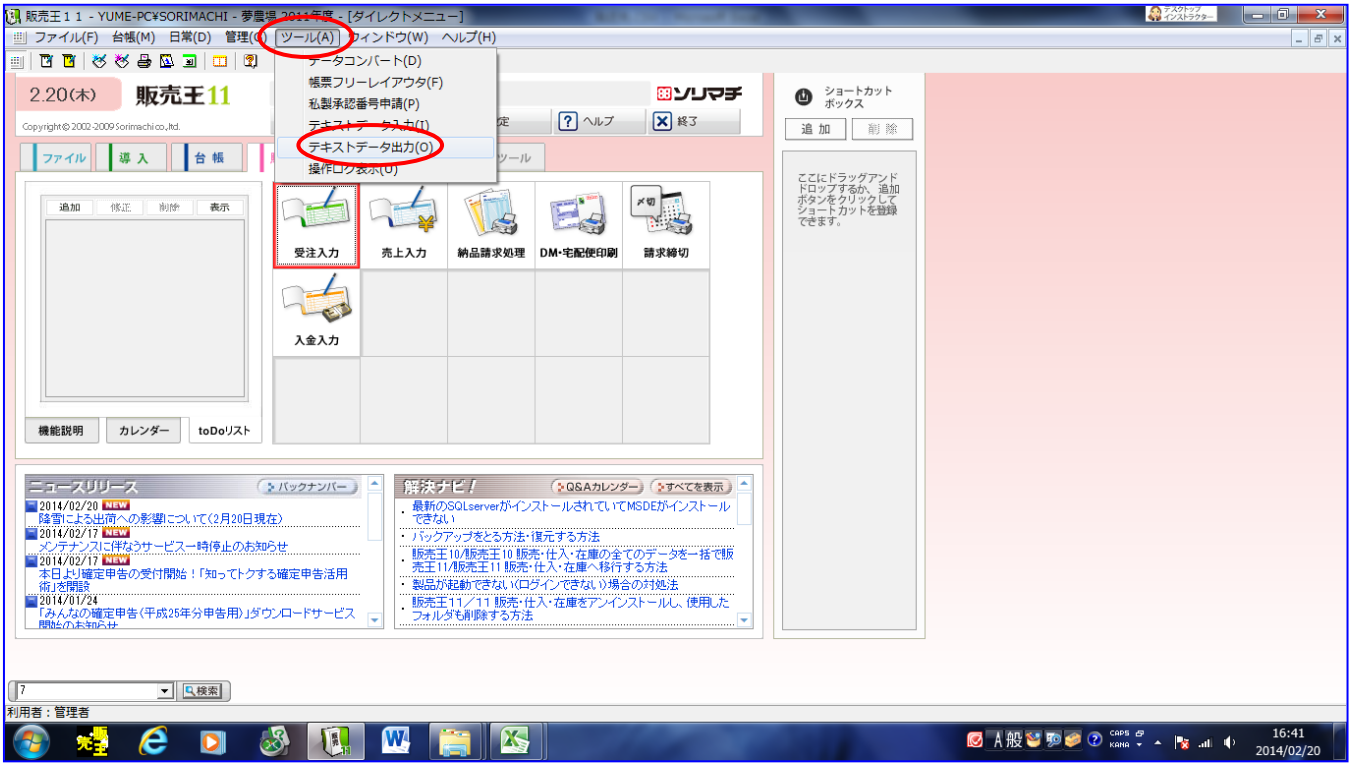
（１）販売王システムを起動して、得意先とお届先をＣＳＶ（テキスト）ファイルに出力する

（２）らくらく産地直販システムに、産直くんシステムの得意先とお届先のデータを取り込んで、
顧客マスタと架空の注文データを作成する

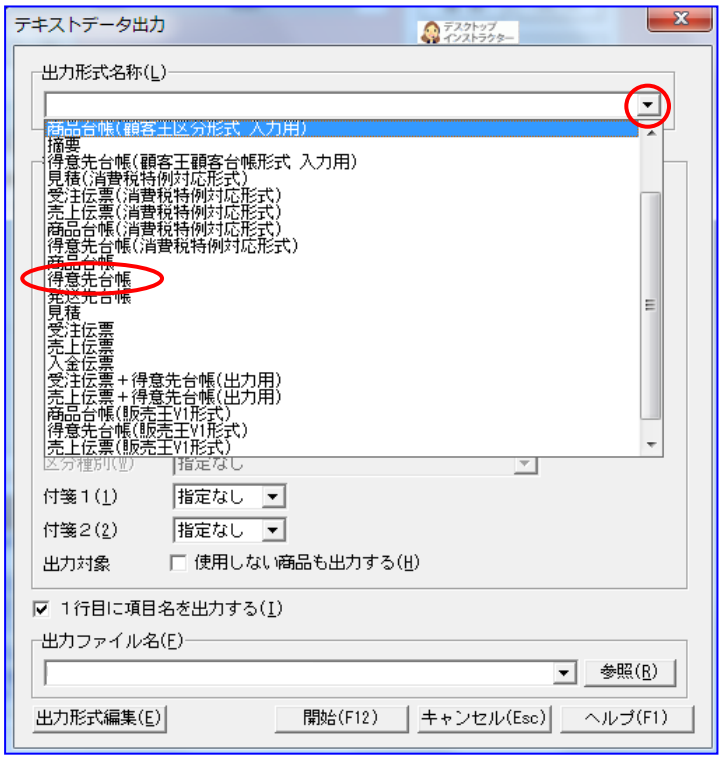


３．　販売王システム：ファイル出力

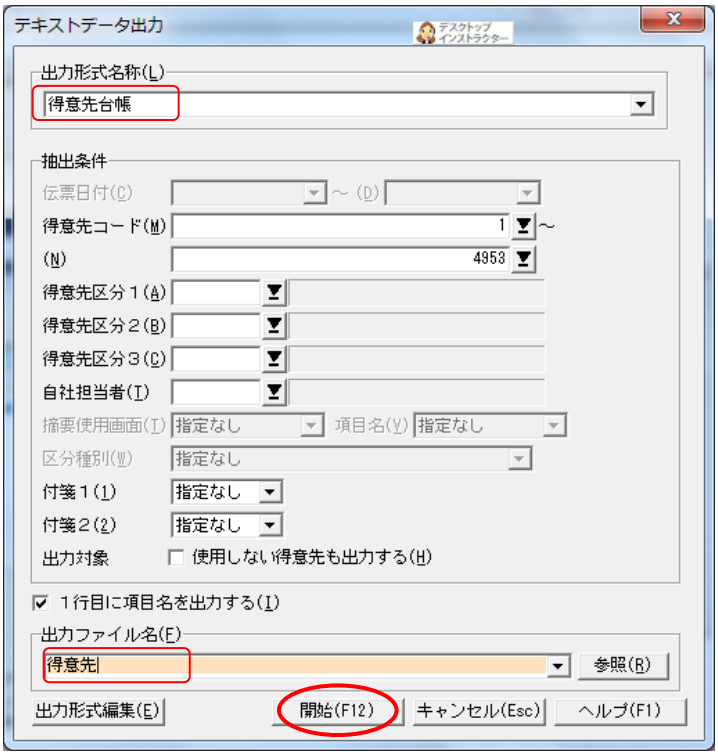
（１）販売王システムを起動する



（２）ツールバーから［ツールーテキストデータ出力］をクリックすると、下記のような画面が表示される。



（3）「出力形式名称」欄の［▼］をクリックして、「得意先台帳」を選択すると、下記のような画面が表示されます。



（4）出力ファイル名に「得意先」と入力して、［開始］ボタンをクリックします。
《注意》保存されたフォルダをメモしておく。

（5）同様に「出力形式名称」欄の［▼］をクリックして、「発送先台帳」を選択して、出力ファイル名に「発送先」と入力して、［開始］ボタンをクリックします。
《注意》保存されたフォルダをメモしておく。

これで、データ移行用のファイルが作成されました。

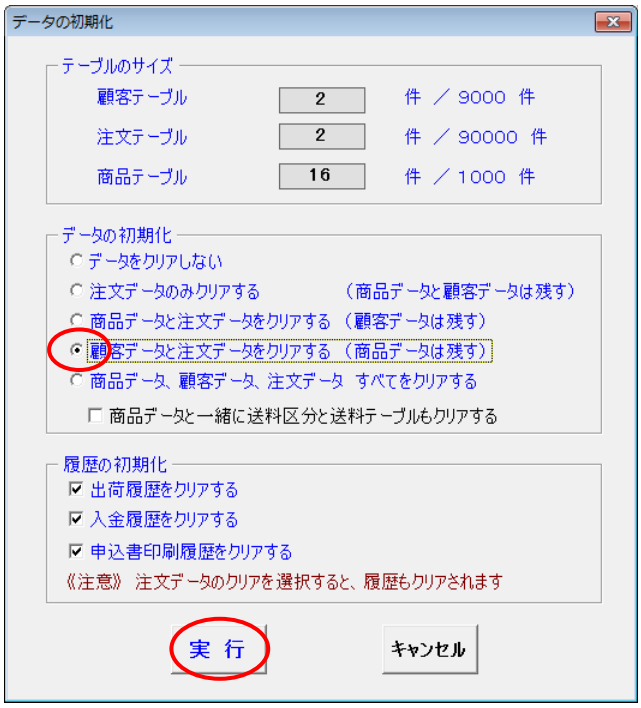
《注意》販売王の商品コードは１番から始まる数字になっていて、体系化されていません。
らくらく産地直販では「商品分類・商品区分・送料区分」が必要になるため、商品コードで商品が特定できるように、わかりやすい商品コードを付けることをお勧めします。
（詳細は、らくらく産地直販－取扱説明書（導入編）の１３．１項を参照ください）

４．　らくらく産地直販：データの取り込み

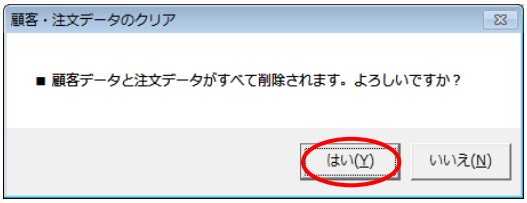
「らくらく産地直販システム」を起動すると、下記のようなメインメニューが表示されます。

（1）メインメニューの［メンテナンス］ボタンをクリックすると、下記のような画面が表示されます。

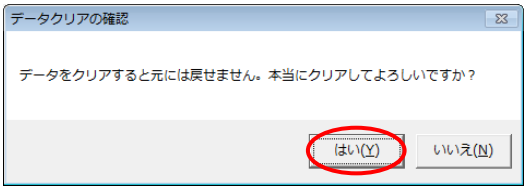
（2）［データの初期化］ボタンをクリックすると、下記のような画面が表示されます。



（3）「顧客データと注文データをクリアする」にチェックして、［実行］ボタンをクリックします。
下記の確認メッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。

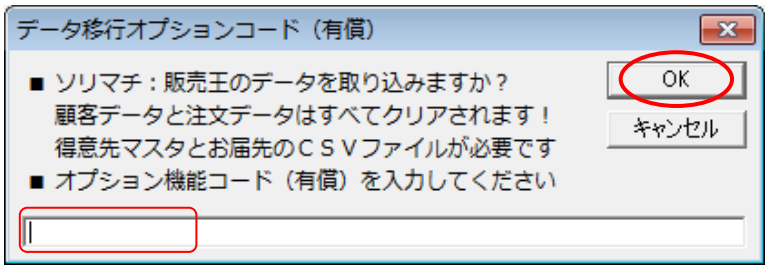


再度、下記の確認メッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。



（4）メンテナンス画面に［産直くんデータの移行］ボタンが表示されます。

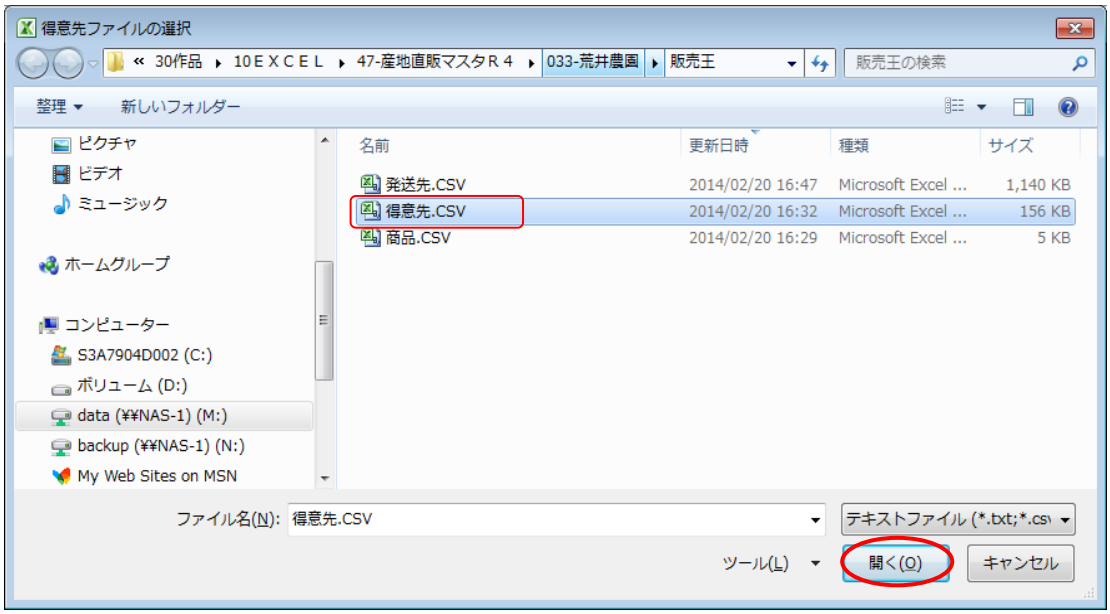
（5）［販売王データの移行］ボタンをクリックすると、下記の確認メッセージが表示されます。



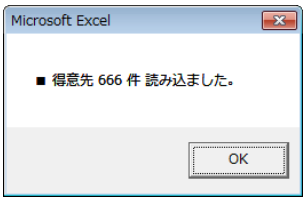
オプションコードを入力して［ＯＫ］ボタンをクリックすると、データの取り込が開始されます。
《注意》 データ移行オプションを購入された方に、オプションコードを通知いたします。

（6）得意先データの取り込み

下記のようなダイアログボックスが表示されるので、３．項で取り込んだ販売王システムの得意先ファイル「得意先.csv」を選択して、［開く］をクリックします。

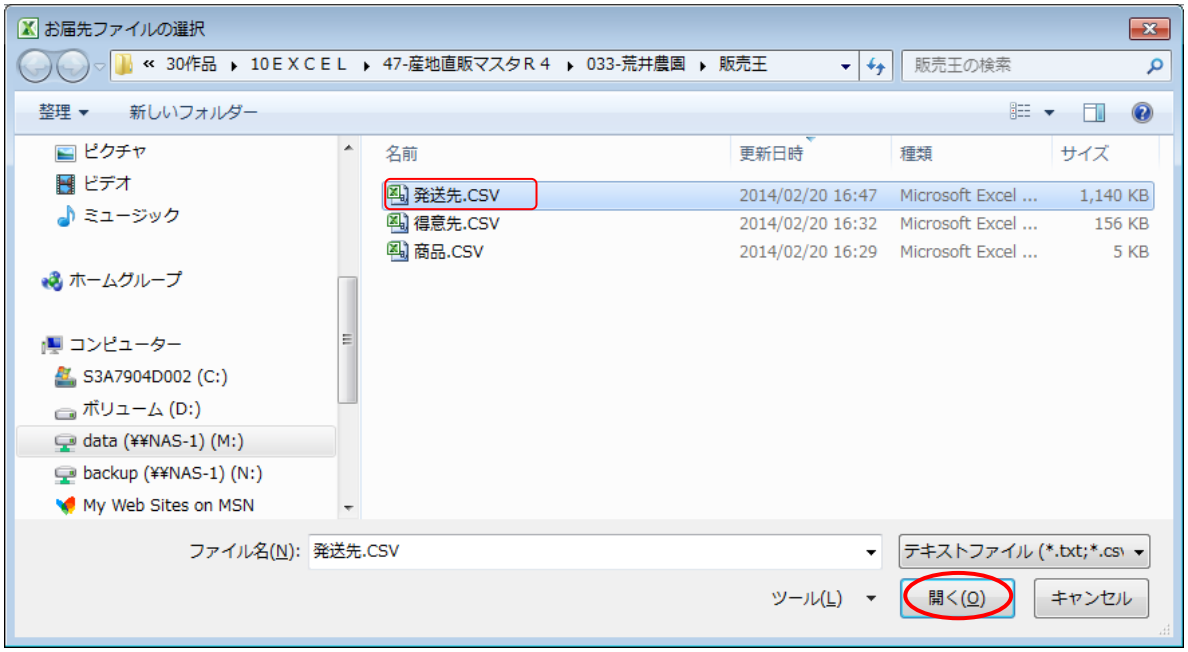


得意先のデータが取り込まれると下記のようなメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。

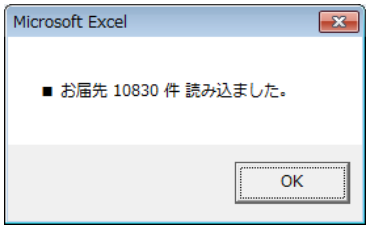


（6）お届先データの取り込み

下記のようなダイアログボックスが表示されるので、産直くんのお届け先のファイル「依頼主別届先一覧表.txt」を選択(クリック)して、［開く］をクリックします。

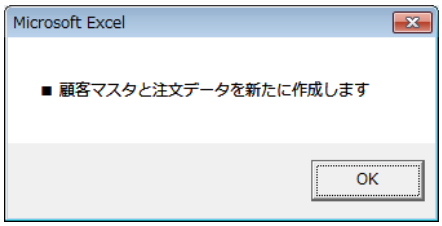


お届け先のデータが取り込まれると下記のようなメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。

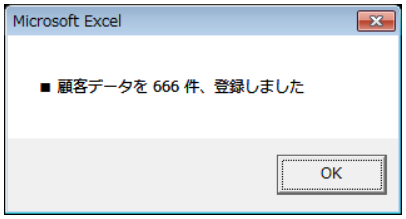


（7）顧客マスタと注文データの作成

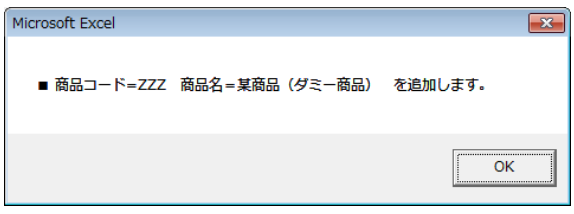
下記のようなメッセージが表示されるので、［ＯＫ］をクリックします。



得意先データから顧客マスタが作成されると下記のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。

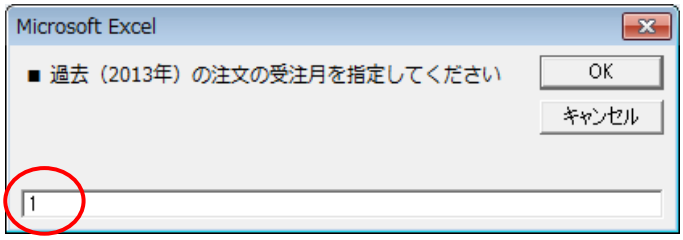


次に下記のようなメッセージが表示されます。



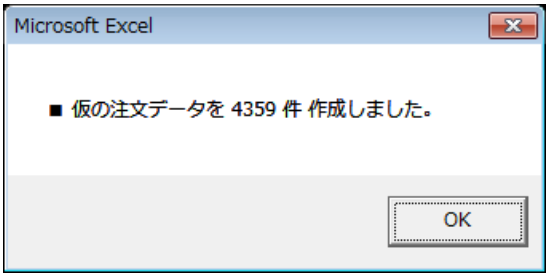
［ＯＫ］をクリックすると、架空の注文データに入れるダミー商品（ZZZ　某商品）が登録されます。

次に、過去の注文データの昨年の受注月を指定するための入力メッセージが表示されます。



通常は例年の受注開始月（りんごを１０月から受注する場合は、１０月）を指定します。

次に、顧客マスタとお届先データから架空の注文データが作成され下記のようなメッセージが表示されます。
[OK]をクリックすると、データの移行が完了して、メインメニューが表示されます。



【留意点】

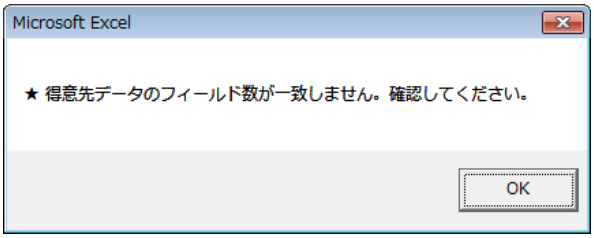
① 顧客NOは、「1001」から新しく振りなおされます。
② 郵便番号は「***-****」のように「-」が付加されます。
　また、8桁を超えている場合、超えたデータはカットされます。
③ 住所から県名が取り出されて、県名フィールドに設定されます。
④ 電話番号が15桁を超えている場合、超えたデータはカットされます。
⑤ 顧客のランクは「3」になります。
⑥ 注文データの受注日は「昨年のm月１日」になり、販売した商品は架空の商品（商品コード＝ZZZ、商品名＝某商品）になります。（mは入力します）
⑦ 商品マスタに「商品コード＝ZZZ、商品名＝某商品」が追加されます。
⑧ 商品価格、送料、合計価格は「0」円で登録されます。

《補足》らくらく産地直販は、お届け先データというテーブルは持っていません。
　　過去の注文データから、都度お届先を検索する方式のため、架空の注文データを登録することで、リピート注文の際にお届先のデータが取り込むことが可能になります。
　　今回作成した注文データは、リピート注文のお届先のための架空の注文データなので、販売の集計には使わないでください。集計する際は、正規の注文の期間で絞り込んでください。

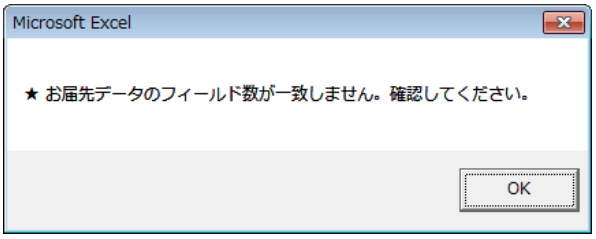
＜エラーメッセージ＞

下記のエラーが発生した場合は、処理が中止されます。

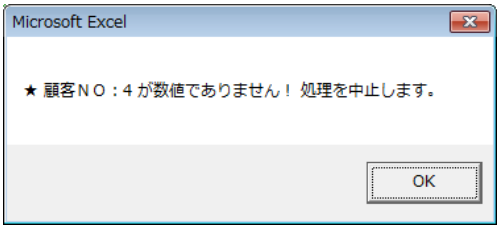
■ 得意先データのフィールド（項目）数が「11」でない場合



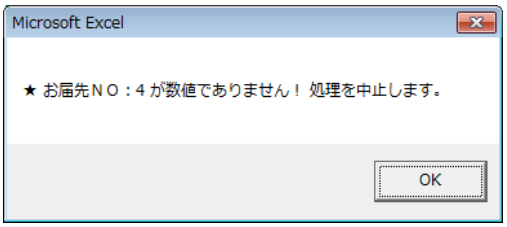
■ お届先データのフィールド（項目）数が「9」でない場合



■ 得意先ＮＯが数字でない場合



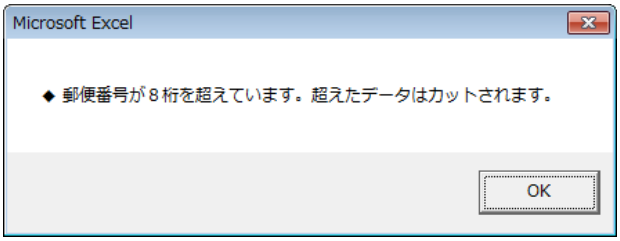
■ お届先ＮＯが数値でない場合



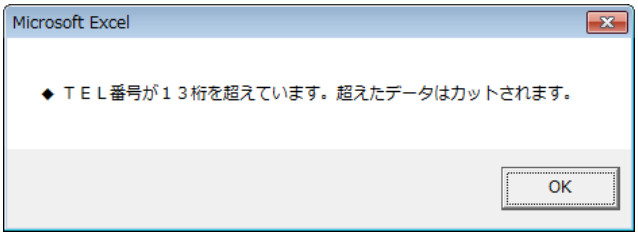
＜警告メッセージ＞

下記のメッセージが表示された場合は、データが修正されます。

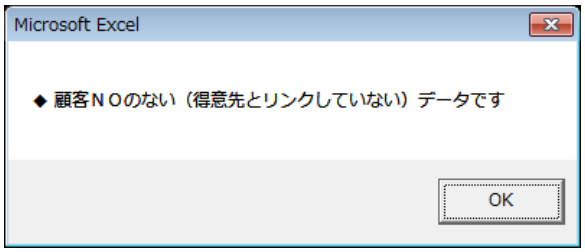
■ 郵便番号が８桁を超えている場合、９桁目以降はカットされます。



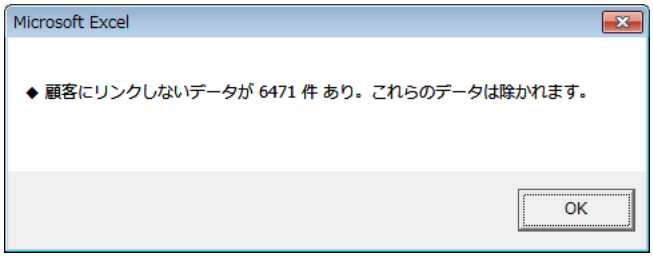
■ ＴＥＬ番号が１３桁を超えている場合、１４桁目以降はカットされます。



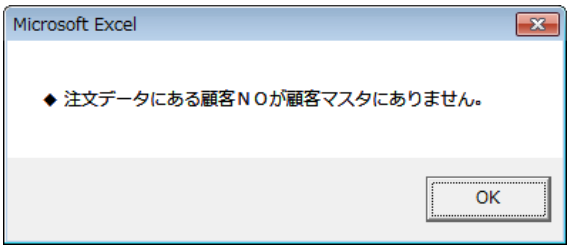
■ お届先情報の顧客ＮＯが空白の場合



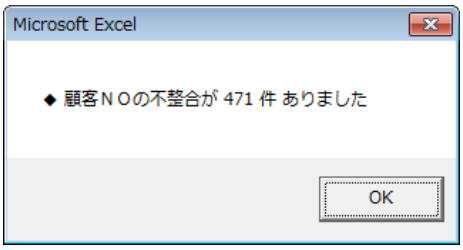
処理後にその件数が表示されます。



■ お届先情報の得意先が得意先マスタにない場合



処理後にその件数が表示されます。



５．　データの確認

５．１　顧客データ

メインメニューの［顧客管理］ボタンをクリックして、得意先データが顧客マスタに取込まれていることを確認します。

《注意》正しく取り込まれていない場合は、得意先のデータ（CSV・テキストファイル）を確認して、データ移行をやり直してください。

５．２　注文データ

メインメニューの［注文一覧］ボタンをクリックして、注文データを表示します。
架空の注文データは受注日が 1 年前になるため表示されないので、検索の［リセット］ボタンをクリックすると、過去の注文データも表示されます。

《注意》注文データにお届け先が反映されていない場合は、お届け先のデータ（CSV・テキストファイル）を確認して、データ移行をやり直してください。